



人吉市 社協だより

No. 170

平成26年(2014年)10月1日

編集発行
社会福祉法人 人吉市社会福祉協議会

人吉市西間下町41番地1
(人吉市総合福祉センター内)

☎ (0966) 24-9192・FAX 25-1117

印刷 (有)町田印刷

社協のホームページ <http://www.hitoyoshi-shakyo.com> Eメール info@hitoyoshi-shakyo.com

共同 募金

10月から全国一斉に始まります!!



主な
内容

共同募金(支会長あいさつ/赤い羽根について)	2
共同募金(平成26年度募金目標額)	3
夏のボランティア体験行事	4
夏のボランティア体験行事(ボランティアスクール)	5
夏のボランティア体験行事(ボランティア体験教室)/ファミサポ通信	6
校区社協座談会	7
校区社協活動計画策定研修会/専門職ワークショップ/デイサロン見学記	8
ふれあいぼられんだより	9
人吉球磨ブロック社会福祉協議会災害ボランティア設置訓練	10
デイサロンサポーター意見交換会/ボランティア養成講座受講生募集	11
香典返し・一般寄付・善意銀行/無料法律相談/編集後記	12

赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金にご協力よろしくお願ひします。



喜びあえる町



人吉市支会長
永山 芳宏

長雨の影響で、たんぼの稲の収穫がちよつと気になる時季になりました。市民の皆様方には、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。今年も全国各地で、長雨や大雨による土砂災害が発生し、多くの方々被災されました。被災されました皆様方にお見舞いを申し上げますとともに、避難勧告・避難指示が出る前に自分自身の命を守る行動をとる事を、日頃から心がけておく事が大切であります。

平成25年度事業におきましては、委員各位のご尽力、市民皆様方のご協力によりまして、各種行事・募金活動を終える事ができ、年末には高齢者の方々や生活困窮者の皆様へ、善意の心と共に金品をお届けすることができました。ありがとうございました。

人口減少、少子化、高齢化が進むなかではあります、今後も皆様方と共に、健康で楽しく・生きがいを高めて「この町に住んでいて良かった」と喜びを分かち合える町にしていくためにも、より積極的な活動を進めていきたいと思っております。

今年度も10月1日から赤い羽根共同募金活動が始まります。戸別募金、企業募金をはじめ青井阿蘇神社の「おくんち祭」や各種イベントでの街頭募金を実施します。職場や学校、地域の皆様方のご協力ご支援をよろしくお願ひします。

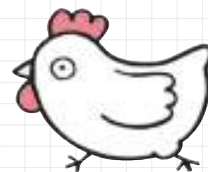
これでスッキリ!!

ハッピーと一緒に赤い羽根のナゾを解明しよう!!



Q. 赤い羽根の羽は何の羽？

A. ニワトリの羽です。ニワトリの羽を赤く染めています。



Q. なぜ赤い羽根を使うの？

A. 昔、ヨーロッパやアメリカで赤い羽根が「善い行い」や「勇氣」の象徴とされてきたことによるといわれています。

赤い羽根は、「たすけあい」「思いやり」「しあわせ」のシンボルです。



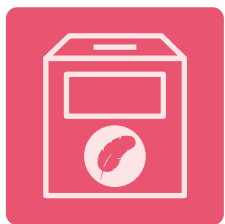
Q. いつから赤い羽根を使っているの？

A. 昭和23年(1948年)第2回の共同募金運動から使っています。ちなみに第1回目の時はブリキのバッジを使用していました。



Q. どの国でも赤い羽根を使うの？

A. 全世界で43の国や地域が共同募金を実施していますが、現在、赤い羽根を使っているのは日本と南アフリカ共和国だけです。他の国々では手と虹を表すマークを使っています。



人吉市の
平成26年度
目標額

10,000,000円

平成26年10月1日から12月31日までの期間において
さまざまな場面で募金活動を行います。

- 戸別募金**……町内会を通じて各世帯にご協力いただく募金です。
- 法人募金**……企業にご協力いただく募金です。毎年約330社の企業にご協力をいただいています。
- 職域募金**……事業所や会社で働く従業員の方々にご協力いただく募金です。
- 学校募金**……市内12の小・中・高等学校・専門学校にご協力をいただく募金です。
- 街頭募金**……10月9日(木)おくんち祭と、11月8日(土)・9日(日)ひとよし産業祭会場内で募金活動を行います。
- 歳末袋募金**……12月の1ヶ月間で、町内会を通じて各世帯にご協力いただく募金です。袋(封筒)に入れてください。
- 歳末たすけあい演芸会**……12月7日(日)にカルチャーパレスの大ホールで行います。ご来場お待ちしております。(演芸会チケットの売上の一部が募金になります。)

※共同募金への寄付は、税制上の優遇措置の対象となります。

じぶんの町をよくするしくみ。

共同募金は、前年度集めた募金が、翌年度に、じぶんの町に戻ってくるしくみの募金です。人吉市で集まった募金は、熊本県と人吉市の福祉のために使われています。なお、人吉市では、共同募金の配分金で以下の事業を行っています。



ミニサロン



歳末たすけあい見舞金品配布



ボランティアスクール



みんなしあわせ☆スマイルフェスタ

他にも、老人クラブをはじめ各種福祉団体への活動助成や、社協だよりの作成、などに共同募金を使わせていただいています。今年も、じぶんの町「人吉市」をよくするしくみ 赤い羽根共同募金に、あなたのご協力をお願いします。

ボランティア体験行事

本年度も夏休みにボランティア体験行事を開催し無事に終了することができました。これもひとえに受け入れて下さった福祉施設・保育園をはじめ学校関係者、協力機関、当日お世話いただいた民生児童委員、子ども会の皆様、関わってくださった方々のおかげだと思えます。改めて御礼申し上げます。

今回は10会場での第29回ボランティアスクール、21会場での第22回ボランティア体験教室を実施しました。昨年まで開催していた「高校生ワークキャンプ」は生徒への負担を考慮し本年度は体験教室に組み入れる形で行いました。

7月22日の医療法人愛生会の会場から始まり、最終日の8月12日の特別養護老人ホーム龍生園まで271名の生徒が参加しました。

全ての会場で認知症サポーター養成講座を開催し、多くのサポーターが誕生しました。私たちが生活するこの人吉市にも多くの高齢者、認知症の方がいらっしやいます。これを機会に「おでかけですか?」「お手伝いすることはありませんか」と気軽に声をかけられるような子どもたちが増えてくれれば嬉しい事です。

ボランティアには色々な形があります。現代社会ではボランティアの協力というのは必要不可欠なマンパワーです。ボランティアの入口に立った子供たちが今後積極的に手を差しのべられる人になってくれることを望んでいます。

児童福祉部会 部長 宮山 惇

川柳体験



レクリエーションの様子



疑似体験の様子



保育園での粘土遊びのお手伝い



保育園でのプールのお手伝い



小学6年生対象 第29回 ボランティアスクール

7月22日から8月12日の期間、小学6年生を対象に、市内10会場でボランティアスクールを実施し、154名の児童の皆さんに参加いただきました。子どもたちは、2日間の日程の中で初日の午前中にこそ緊張した面持ちでしたが、2日目の終了するころになるとクラスメートのような雰囲気でのボランティア活動に取り組んでいました。

なかには、代表の挨拶に立候補したり、得意分野を進んで披露したりしてくれる子もいました。また、活動では、車いすをきれいに拭きあげたり、施設のスタッフさんに進んで声をかけ手伝ったり、利用者の皆さんと一生懸命話をする姿が印象的でした。

施設では、それぞれの特長を活かした活動を用意していただき、とても貴重な経験をさせていただきました。



..... 中・高専門学校生対象 **第22回 ボランティア体験教室**

前期(7月28日～29日)・後期(8月4日～5日)の日程で8福祉施設・13保育園で、ボランティア体験教室を実施し、117名の生徒に参加いただきました。体験教室の前日には、事前学習会を実施し、認知症サポーター養成講座や、ボランティアをする上での心構え等について勉強したうえで、ボランティアに臨んでいただきました。

中高生の活動ともあって、ボランティアスクールとは一味違った体験ができ、なかには、将来の目標を明確にした生徒もいました。



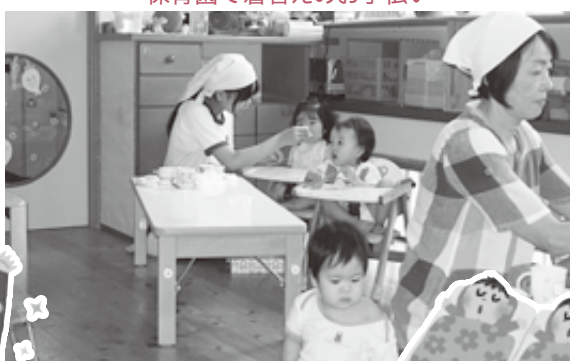
事前学習会での発表の様子



保育園で着替えのお手伝い



目と目を合わせて施設の利用者さんとお話中



保育園で昼食時間の様子「のこさず食べようね」



施設で掃除のお手伝い

生徒の感想

- ・ 保育士になりたいという夢に一步近づいた気がします。
- ・ ボランティアをすることが心の成長につながると思うのでまた参加したいです。
- ・ 園児の方から話かけてくれて嬉しかったです。
- ・ 認知症にもいろんな症状があることを学びました。お年寄りへの対応がわかることもできました。将来は介護の職につきたいです。

ファミサポ通信 No.8

平成26年 秋号

平成26年度

ファミリーサポート病後児一時預かりサポーター養成講座



8月27日～29日、人吉市総合福祉センターで病後児一時預かりサポーター養成講座を開催し、5名が参加しました。

子どもの体の発達や食生活、病後児の遊びや保護者との関わり方、子どもが起こす問題行動の意味、子どものケガや感染症と家でのケアについて、症状に応じた対応や看護の方法、応急処置、発達



障害の理解と子どもたちへの支援について、小児科医・保育士・保健師・救急救命士・療育相談員等に専門的な講義をいただきました。これからも安心・安全に努めてまいります。

12会場で開催「校区別地域座談会」

～まちの困りごとを出し合い、解決策を考えました～

7月15日～8月26日までの期間、市内12の会場で校区別地域座談会を開催しました。参加者は、グループごとに分かれ、普段の暮らしのなかで不安に思っていることや困っていることなどを出し合いました。さらに課題に対する解決策を協議し、発表を行いました。

今回の座談会で出された意見は、地域福祉計画(市策定)、地域福祉活動計画(市社協策定)、校区社協活動計画に生かします。



西



東



東間



矢岳



大塚・田野



大畑



西瀬



中原

各校区の座談会の様子

ご協力ありがとうございました。

第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定研修会

校区社協活動計画策定研修会

校区社協活動計画は、各校区で地域福祉を進めるために作られます。

研修会では、7月・8月に開催された校区別地域座談会の意見などを元に、校区ごとに課題を整理し、今後の活動について協議しました。

今後は、各校区で数回会議を開き、第2次の計画を練っていくこととなります。

地域の困りごとから具体的な活動を考えましょう!!
・いつまでに・誰が・何をするのか
・活用できる資源はないか.....



講師の 和田 要先生



挨拶運動

サロン活動

世代間交流

見守りマップ作り

専門職ワークショップ

市内の施設や事業所で働く、医療・保健・福祉分野の専門職が約40名参加し、地域福祉について話し合いました。

看護師、保健師、介護支援専門員、相談支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士、ケースワーカー、管理栄養士...それぞれの立場からみえる地域の課題や当事者、家族の困りごとなどが出され、その課題をどう解決するのか協議しました。



地域の方の障がい者への理解が薄い

家族の協力が得られない

生活が厳しく余裕がない人が多い

多職種のつながりが必要

専門職として何が出来るだろう?

働く場がない仕事が続かない

デイサロン見学記

⑧

鬼木町会館



お邪魔した瞬間、賑やかな笑い声が聞こえてきました。

今回は、会場は、毎回30名近くの方に参加していただいている鬼木町会館です。

年度と比べて体力・筋力が落ちていないかを測るため、年に一度、体力測定と、日常生活についての聞き取り調査を元氣長生きセンターの協力を得ながら行っています。

この日も、年に一度の体力測定の日でしたが、皆さん一生懸命、片足立ちや、握力測定、5m歩行に取り組まれていました。測定の待ち時間には、皆さんへお手玉遊びを思い出しながら、さすが皆さんお上手!「昔取ったかねづか」で見事な腕前を披露していただきました。

普段からデイサロンに参加される方は、ご自分の健康に気を遣われている方が多いように思います。人が集まる場所に行って、他の参加者と交流をもつというのはそれだけで元氣になる秘訣でもあるんですね。



この会場は、毎回25名以上と参加者が多く、男性も2名ほど参加があります。毎月、和田町内会長が見えて、鬼木町内の行事や役に立つ話をいただいております。昼からのミニグラウンドゴルフは、人数も多いので大変賑わっている会場です。(スタッフ:清家 美奈子)



ふれあい ぼられんだより

No.53
人吉市
ボランティア
連絡協議会



今年の夏は雨が多く、台風までやってきました。晴れたかと思えば日差しが厳しく過ごしにくい時期が続きました。皆さんおかわりないでしょうか。



災害ボランティアセンター設置訓練での炊き出しの様子

ボランティア連絡協議会では各団体の活動をはじめ、今年の夏は8月30日(土)の災害ボランティアセンター設置訓練、8月30日(土)・31日(日)の24時間テレビによる街頭募金に参加しました。

訓練では「炊き出し訓練」を担当しました。広島県の未曾有の災害を目の当たりにすると、この訓練の必要性を痛感したところです。

募金活動では皆様の善意に、ただただ感謝したところでした。

今後の活動としては火の国ボランティアフェスティバルやとっておきの音楽祭、歳末たすけあい演芸会にむけて準備を進めてまいりたいと思います。

人吉市ボランティア連絡協議会
会長 馬場 佳代子



24時間テレビ街頭募金活動に協力しました

楽しい仲間と共に



「おはようございます」と園生の元気な声に迎えられる、月に一度私たちのグループ8名は希望ヶ丘学園へ作業のお手伝いに行きます。

こし袋、アクリル毛糸のタワシ、絵馬を下げる組紐、雑袋等私たちでできるものは学園の頼みに応じ、9時半よりお昼までの短い時間ですが何でも作ります。お互い得意分野はありますが、話し合い工夫し、出来上がった作品を担当の先生にお渡しするときの充実感、時には残った材料を持ち帰り、暇を見て自宅で作り、次回の来園の時に見せ合うのも楽しみです。

帰りは必ず昼食会をし、世間話や健康の話、次回の日程を話し合い、年に一回は一泊旅行か日帰り旅行も行いグループの和も大切にしています。



また、人吉市ボランティア連絡協議会から行事参加依頼があればできるだけ参加し、他グループの方たちとの親睦も深めるようにしています。

サークルの平均年齢は七十七歳、いつまで活動できるかわかりませんが、元気で楽しくボランティアが続けられたらいいなと思います。

河南グループ 俣野 キヨ子

人吉球磨ブロック社会福祉協議会 災害ボランティアセンター設置訓練

8月30日(土)に人吉球磨の社会福祉協議会合同で、災害ボランティアセンター設置訓練を行いました。

災害ボランティアセンターとは、甚大な被害に見舞われた被災地に設置され、ボランティアが必要な被災者と駆けつけてくれたボランティアとをつなぐ役割を果たすために設置されます。災害時相互応援協定を結んでいる人吉球磨の社会福祉協議会でも、毎年持ち回りで、有事に備えた訓練を行っています。

今年度は、相良村のふれあいセンターを会場に、各社協職員とボランティア合わせて約200名が参加し、「センター設置訓練」「炊出し訓練」「足湯体験」を行いました。



足湯体験

人吉市社協は足湯を担当し、人吉市や錦町の傾聴ボランティア、学生ボランティアに協力していただき、足湯体験者に、両手のマッサージを行いながらゆっくり会話をさせていただきました。



足湯の受付

被災地で行う足湯の効果！！

- ①身体的リラックス効果（冷え・むくみ・肩こりなどの症状改善）
 - ②心理的リラックス効果（不安を和らげる・心が軽くなる・ほっとできる）
 - ③被災した方々の苦しみや悩みを聴き出せる。（被災者のニーズ把握ができる。）
- ※「足湯」は、1995年(平成7年)の阪神・淡路大震災の避難所で、初めて取り入れられました。



たらいに足をつけて、手をマッサージしながらお話中



足湯の前には水分補給

人吉市社協では災害ボランティア養成講座やセンター設置訓練を毎年実施しています。興味のある方は今後の社協だよりやホームページでご確認ください。

デイサロンサポーター 意見交換会



8月29日(金)にデイサロンサポーター意見交換会を開催しました。

デイサロン事業には現在16名のサポーターの皆さんにご協力いただいています。

スタッフとは顔見知りでも、サポーター同士は担当の会場が違いためなかなか顔を合わせることがありません。そこで同じデイサロンにご協力いただくサポーター同士が互いの情報交換や交流をしていただくことを目的として集まっていただきました。

グループワークでは、「私もできること・私の得意なこと」や、「サポーターとしてやってみたいこと、学びたいこと」、「わたしの実践している介護予防」といった3つのテーマに沿って話し合っていたいただきました。

「利用者の話をじっくり聞いている」「スタッフの代わりにまとめ役をしている」といった頼もしい意見も聞かれ心強く感じました。



他にも、健康維持のために実践していることなどについても話が盛り上がりました。今後どこかの会場で披露されるかもしれませんね。
 デイサロンサポーターの皆さん、これからも皆さんの力をデイサロンで存分に発揮してください。よろしくお願いいたします。



2015年 カレンダー販売中!!



西間下町の岩井實様よりカレンダー 300部を寄贈していただきました。
 販売の益金は、社協の活動費になりますので、購入にご協力ください。
 1部 400円で販売しています。社協窓口にてお求めください。

平成26年度 ボランティア養成講座 受講生募集

傾聴ボランティア養成講座を開催します

- 養成講座の日程等
 ※全4回の受講が出来る方が対象となります。
- 第1回 11月13日(木)13時30分～16時30分
- 第2回 11月20日(木)13時30分～16時00分
- 第3回① 11月27日(木)13時30分～15時30分
- ② 12月4日(木)13時30分～15時30分
- 第4回 12月11日(木)13時30分～15時50分
- 定員………10名程度
- 参加費………無料
- 申込締切………10月24日(金)



詳細・お申込については、
 人吉市社会福祉協議会(Tel.24-9192) 担当：横井

第3回「とっておきの音楽祭」ひとよしが開催されます

とっておきの音楽祭は、「みんなちがってみんないい」を合い言葉に、障がいのある人もない人も一緒に音楽を楽しみ、音楽の力で心のバリアフリーを目指す音楽祭です。街の中がステージとなり、聴く人、観る人、ボランティアする人など、あらゆる人々が集い、街行く人も観客となります。一緒に演奏し、歌い、踊り、演じませんか。

- 開催日 平成26年10月19日(日)
- 開催時間 午前10時～午後3時
- 会場 堤診療所駐車場、あゆの里駐車場
 一富士旅館 ほか



温かい善意に感謝します

市社協へご寄付芳名



次の方々から「社会福祉に役立ててほしい」と、心温まるご寄付をいただきました。皆様のご厚意に深く感謝申し上げますとともに、故人のご冥福をお祈り申し上げます。

香典返し (H26.6.21 ~ H26.9.15)

氏名	続柄	故人名	住所
小川 香様	御母堂	箕田 トノエ様	駒井田町
緒方 和子様	御主人	緒方 政義様	瓦屋町
鎌田 桂子様	御主人	鎌田 利秋様	下城本町
松岡 肇様	御令室	松岡 美智子様	上林町
黒坂 晴美様	御主人	黒坂 定信様	東間上町
藤川 エミ子様	御主人	藤川 幸六様	願成寺町
藤田 りつ子様	御主人	藤田 昭二様	瓦屋町
原 みちよ様	御主人	原 初吉様	願成寺町
松下 悦江様	御主人	松下 勁助様	下林町
松下 幸子様	御主人	松下 堅様	下原田町瓜生田
恒松 キサ子様	御主人	恒松 今人様	願成寺町
蔵座 貴子様	御母堂	蔵座 光子様	下原田町西門
井上 義治様	御母堂	井上 ミキエ様	西間上町
寺山 淳子様	御母堂	田口 吉江様	鬼木町
井上 正美様	御母堂	井上 照様	願成寺町
尾下 幹雄様	御令室	尾下 揚子様	大野町
橋本 和博様	御母堂	橋本 康子様	願成寺町
田山 良一様	御祖母	田山 オワサ様	瓦屋町
馬場 三代子様	御母堂	馬場 ヨシエ様	中神町段
宇田 悟様	御母堂	宇田 スマ様	瓦屋町
田中 光子様	御主人	田中 徹様	下青井町
中村 光則様	御尊父	中村 末廣様	中神町段山
段村 教子様	御母堂	段村 スミコ様	宝来町
竹内 雍様	御母堂	竹内 福子様	兵庫県川西市
野田 眞司様	御母堂	野田 シヅエ様	紺屋町
屋森 正光様	御母堂	屋森 清子様	中青井町
新村 三千代様	御主人	新村 良明様	中林町
内布 厚様	御母堂	内布 カルコ様	下原田町上野
角 巳善様	御令室	角 ミノエ様	鬼木町
畠山 スミ様	御主人	畠山 正喜様	北泉田町
西 三代子様	御主人	西 秀助様	下林町
東 一善様	御母堂	東 トノエ様	下漆田町
瀬口 汎敏様	御子息	瀬口 慎吾様	大畑町
岡本 幸子様	御母堂	岡本 愛子様	鶴田町

氏名	続柄	故人名	住所
大無田 さかえ様	御尊父	立場 勇様	上薩摩瀬町
木場 恵土様	御尊父	木場 義信様	下永野町
藤野 功介様	御母堂	藤野 記民子様	西間下町
指宿 耕一様	御尊父	指宿 正光様	鹿児島県始良市
萩原 哲治様	御母堂	萩原 豊実様	下薩摩瀬町
平田 典様	御主人	平田 繁様	下原田町嵯峨里
山下 哲也様	御尊父	山下 秋行様	瓦屋町
白石 信雄様	御母堂	白石 チエ様	瓦屋町
久保田 ちづか様	御母堂	久保田 正子様	東間上町

〇善意銀行 (H26.6.21 ~ H26.9.15)

氏名	住所	物品
山下 清美様	西間上町	介護用ベッド
中村 靖則様	中神町馬場	紙オムツ
鹿目滝まつり実行委員会様	鹿目町	お米 15kg
人吉タクシー株式会社 役員一同様	九日町	26,751円

〇一般寄付 (H26.6.21 ~ H26.9.15)

氏名	住所	金額
岡 啓嗣郎様	南町	9,000円

訪問介護員 パートヘルパー募集

～あなたの“資格”生かしてみませんか？～

社会福祉協議会では、パートヘルパーを募集しています。下記の資格をお持ちの皆さん、地域の高齢者・障がい者の介護支援を一緒に行いませんか？

- ◆介護福祉士
 - ◆ヘルパー2級
 - ◆介護職員初任者養成講座を修了された方
- 詳細については、社協事務局まで(☎24-9192)



.....現役ヘルパーの声.....

利用者様が、毎日を充実して生活できるよう、お手伝いをさせていただきます。

子育て中の方、子育てがひと段落ついた方、定年退職を迎えられた方、新たな一歩を考えている方...自分のペースで働けるヘルパーの仕事をしてみませんか？

初めての方も安心して働ける楽しく、明るい職場です。

心配ごとと法律相談

開催日	毎月第1木曜日	秘密厳守
時間	午後1時30分～午後4時	相談無料
場所	人吉市総合福祉センター	要予約
連絡先	24-9192	

日程

10月2日(木)	1月8日(第2木曜)
11月6日(木)	2月5日(木)
12月4日(木)	3月5日(木)

編集後記

九月も半ばを過ぎてめっきり朝晩は冷え込み始めました。
今年の八月は、日照時間が80時間と平年比半分以下で、統計開始以来最小を記録しました。農作物の生育に今後影響しそうで、心配なところですね。

今年、「ボランティア体験教室」と「高校生ワークキャンプ」を統合し、「ボランティア体験教室」として開催、また、小学六年生対象の「ボランティアスクール」では、認知症サポーターの養成も行い、多数のサポーターが誕生しました。今後、子どもたちが立派な見守りとして、活躍できることに期待したいものです。

十月一日から「赤い羽根共同募金」が始まります。皆さまの温かいご協力をお願いします。

(H)